

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和7年2月4日(2025.2.4)

【公開番号】特開2023-110961(P2023-110961A)
 【公開日】令和5年8月10日(2023.8.10)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-150
 【出願番号】特願2022-12519(P2022-12519)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 Z

A 6 3 F 5/04 6 2 0

A 6 3 F 5/04 6 5 1

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月27日(2025.1.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ROM領域を有し、

ROM領域には、第1制御領域と第2制御領域とを有し、

メイン処理を有し、

タイマ割込み処理を有し、

第1制御領域には、遊技の進行に関するプログラムと、ベクタアドレスと、が記憶されてあり、

30

第2制御領域には、不正対策に関するプログラムが記憶されており、

メイン処理には、割込み禁止命令から割込み許可命令までの所定の割込み禁止区間(以下、割込み禁止命令から割込み許可命令までの所定の割込み禁止区間を、「所定の割込み禁止区間」と称す)を有し、

所定の割込み禁止区間中の或るタイミングであるタイミングt1でタイマ割込み処理の周期が到来したとき、タイミングt1でタイマ割込み処理を実行せず、所定の割込み禁止区間が終了した後のタイミングであるタイミングt2でタイマ割込み処理が実行可能であり、その後、タイミングt3でタイマ割込み処理が実行可能であり、

タイマ割込み処理の周期をTとし、タイミングt1を「n×T(「n」は自然数)」とし、タイミングt2を「(n+1)×T」よりも前の特定タイミングとしたとき、タイミングt3は「(n+1)×T」であり、

40

タイマ割込み処理は、割込み許可命令を有し、

メイン処理の割込み許可命令を実行する設計上の処理時間と、タイマ割込み処理の割込み許可命令を実行する設計上の処理時間は同じである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0005】

ROM領域を有し、
ROM領域には、第1制御領域と第2制御領域とを有し、
メイン処理を有し、
タイマ割込み処理を有し、
第1制御領域には、遊技の進行に関するプログラムと、ベクタアドレスと、が記憶されてあり、
第2制御領域には、不正対策に関するプログラムが記憶されており、
メイン処理には、割込み禁止命令から割込み許可命令までの所定の割込み禁止区間（以下、割込み禁止命令から割込み許可命令までの所定の割込み禁止区間を、「所定の割込み禁止区間」と称す）を有し、
所定の割込み禁止区間中の或るタイミングであるタイミングt1でタイマ割込み処理の周期が到来したとき、タイミングt1でタイマ割込み処理を実行せず、所定の割込み禁止区間が終了した後のタイミングであるタイミングt2でタイマ割込み処理が実行可能であり、その後、タイミングt3でタイマ割込み処理が実行可能であり、
タイマ割込み処理の周期をTとし、タイミングt1を「 $n \times T$ （「n」は自然数）」とし、タイミングt2を「 $(n + 1) \times T$ 」よりも前の特定タイミングとしたとき、タイミングt3は「 $(n + 1) \times T$ 」であり、
タイマ割込み処理は、割込み許可命令を有し、
メイン処理の割込み許可命令を実行する設計上の処理時間と、タイマ割込み処理の割込み許可命令を実行する設計上の処理時間は同じである
ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50